

妖しく
愛しく
美しく

*Bijin-ga Rhapsody:
The Beautiful, Beguiling, Beloved
World of Japanese Beauty Paintings*

2020 3/20 (金祝)
5/31 (日)

【開館時間】10:00~17:00 (入館は16:30まで) ※会期中、展示替えがあります

【休館日】月曜日 (ただし祝日の5月4日は開館)、5月7日(木)

【入館料】一般1,000円 / 高・大学生500円 / 中学生以下無料

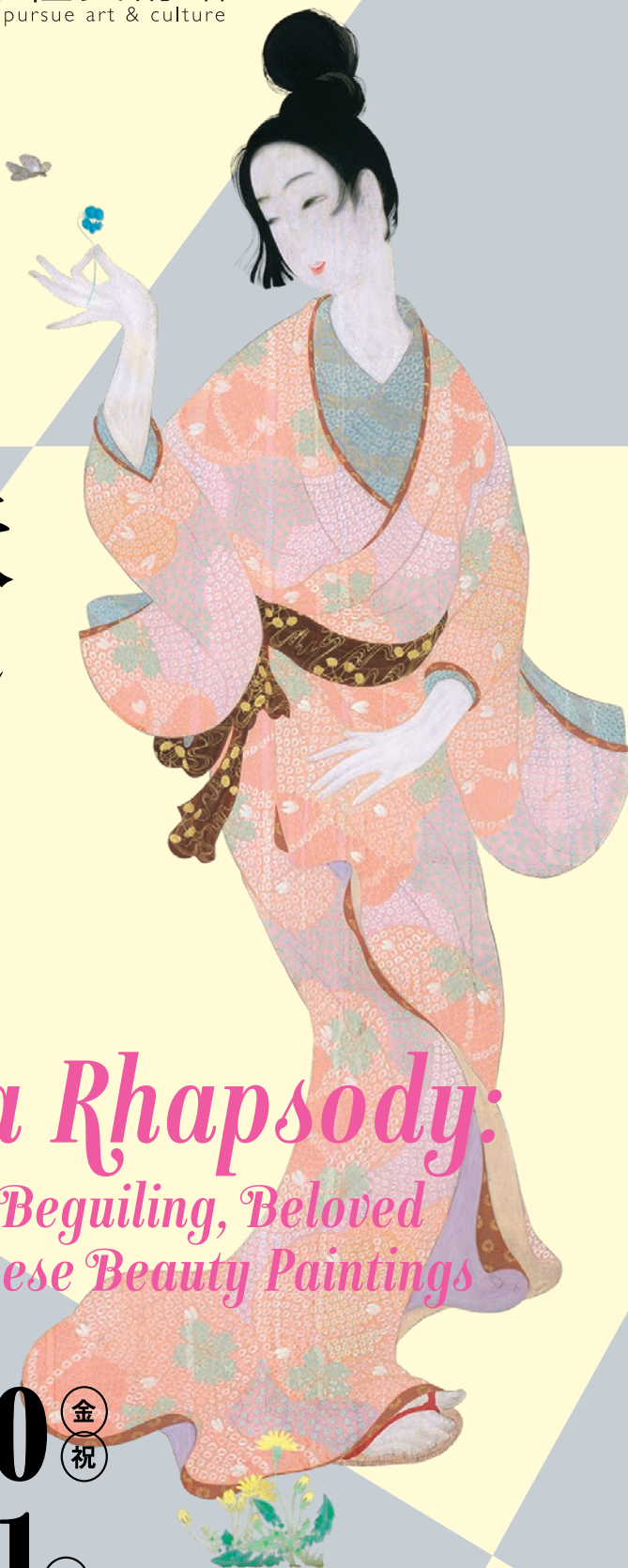
※障がい者手帳などをお持ちの方は半額。介添えの方は1名無料。※20名以上の団体は各200円引き。

【タクシー来館特典】タクシーでご来館の方、タクシー1台につき1名入館無料

※当館ご入場の際に当日のタクシー領収書を受付にご提示ください。

【主催】海見える杜美術館 【後援】広島県教育委員会、廿日市市教育委員会

渡辺機春《春秋美人》(右隻部分)



美人

画

近

代

の

女

性

表

現

春期特別展

ラプソディ



鯨崎英朋《春秋観花園屏風》1904年(明治37)

美人画ラプソディ

近世以来、わが国では女性美を主題にした、いわゆる「美人画」が多く描かれてきました。

明治以降、近代においても、女性の美しさとそれを彩る様々な装いや風俗を表した絵画が描き継がれましたが、やがて労働に携わる姿や日々の暮らしの何気ないひとこま、人生の局面における喜びや悲しみなど、女性の「生」を見つめた作品も描かれるようになります。その背景として、明治30年代に起こった社会主義思想の高まりによる弱者への共感や関心、あるいは明治40年(1907)に始まる文部省美術展覧会(文展)など大小の展覧会において画家の個性が問われる場が増えたことなどが考えられます。

海の見える杜美術館は、美人画の名手上村松園(1875~1949)をはじめ、同時代に活躍した池田蕉園(1886~1917)や島成園(1892~1970)、木谷千種(1895~1947)とその門下生、また妖艶な女性美を追究した増原宗一(1893~1927)や、様々な社会に生きる人間を描こうとした千種掃雲(1873~1944)など個性的な画家たちの作品を収集してきました。本展は当館所蔵の美人画を一挙に公開する初めての機会となります。

その内容は、一部に他館所蔵品を交えて、明治から昭和初期にかけての女性を描いた作品を「四季風物と美人画」「女の暮らしと人生」「女の装い プラス・マイナス」「少女と美人画」という構成で展覧し、一般にイメージされる美人画から、その周辺にあって美人画そのものを照射し、その領域を拡大させる女性像など、近代において変容をとげる美人画の諸相を画家達による「ラプソディ(狂想曲)」と捉え紹介するものです。個性的な画家たちが絵に留めようとした多様な女性美、あるいは女性たちの生のありようから、近代における「美人画」の意義や、絵画表現に与えたインパクトを検証する絶好の機会となるものです。



千種掃雲《ほづきの女》1911年(明治44)



増原宗一《夏の宵》1926年(大正15)

Bijin-ga Rhapsody: The Beautiful, Beguiling, Beloved World of Japanese Beauty Paintings

イベント情報

スペシャルギャラリートーク
泉屋博古館 分館長
野地耕一郎氏による
ギャラリートーク

※要事前申し込み

【日時】4月4日(土)

14:00~(1時間程度)

【会場】海の見える杜美術館
展示室

【参加費】無料(ただし、入館料が必要です)
【申し込み方法】お電話かメールにてお申込みください。その際、参加者のお名前とお電話番号をお知らせください。多数応募の場合、先着順とさせていただきます。詳しくはHPをご覧ください。

Tel: 0829-56-5221
mail: info@umam.jp

当館学芸員による
スライドレクチャー

スライドを用いて、画家と作品についてのレクチャーを行います。

5月2日(土) 13:30~(1時間程度)

【会場】海の見える杜美術館 講座室

【参加費】無料(ただし、入館料が必要です)

【定員】約20名 ◎事前申し込み不要

当館学芸員による
ギャラリートーク

5月28日(土)、4月25日(土)、5月25日(土)

13:50~(40分程度)

【会場】海の見える杜美術館 展示室

【参加費】無料(ただし、入館料が必要です)

◎事前申し込み不要

同時開催

香水瓶展示室

海の見える杜美術館が長年にわたり収集および調査をしてまいりました、香水瓶コレクションより厳選した香水瓶を、いつでもご覧いただけます。



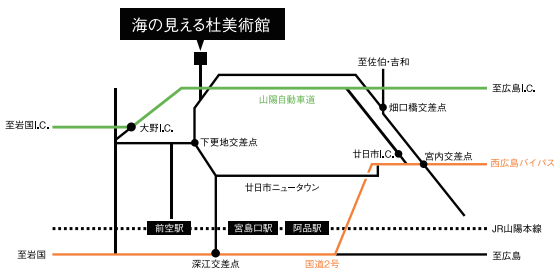
香水瓶《ショッキング》
SHOCKING FLACON
スキャパレリ社
デザイン:レオノール・フィニ
およびビエール・カマン
1957年
透明ガラス、彩色ガラス

竹内栖鳳展示室「栖鳳・麦僊・小松均」

栖鳳画塾・竹杖会は、土田麦僊(1887~1936)をはじめとする個性豊かかつ実力ある画家を輩出しました。栖鳳は、弟子たちの自主性を重んじ、活動を見守った指導者でした。麦僊も同じく、自身の画塾・山南塾で、「仙人画家」とも称された小松均(1902~1989)という個性的な画家を育てました。栖鳳、麦僊そして小松均、それぞれの世代で鋭く己の芸術を見据えながら、次世代を尊重して育ててきた京都画壇の系譜をご覧ください。



竹内栖鳳《涼蔭放牧》1897年(明治30)



■アクセス情報

山陽本線「宮島口駅」または
広島電鉄「広島宮島口駅」からタクシーで約10分
山陽自動車道「大野I.C.」から車で約10分

■タクシー来館特典

タクシーでご来館の方、タクシー1台につき1名入館料無料。
※当館ご入場の際に当日のタクシー領収書を受付にご提示ください。

■お問い合わせ

〒759-0481 広島県廿日市市大野亀ヶ岡10701 Tel: 0829-56-5221 E-mail: info@umam.jp

海の見える杜美術館
learn from nature and pursue art & culture

<http://www.umam.jp>